

1 防災危機管理局の基本方針

<ビジョン>

長浜に暮らすすべての人が、安全で安心して暮らせるための「災害に強いまち ながはま」づくりを目指します。

<ミッション>

- 【1】市民との協働により、減災の考え方も取り込んだ防災対策を進めます。
- 【2】消防、防災体制の充実と消防力の強化を進めます。
- 【3】災害時の情報収集、伝達ツールの充実に向けた整備を進めます。
- 【4】常にコンプライアンス意識を持った行動と、職員間の相互協力による働き方改革を進めます。

2 重点事項

(1) 地域防災力、消防力の向上を図ります

関連する総合計画の政策体系	政策5 安心・安全 目標2 防災・減災対策の充実したまちづくり
---------------	---------------------------------

「市民とつくる、災害に強いまち ながはま」とするため、自助、共助、公助の協働による地域防災力を高め、安全で安心して暮らせるまちづくりを目指します。

また、発災の初動における自助、共助の強化となる事業と平時からの備えとなる自主防災組織への支援・防災意識の向上に取組みます。

なお、市民のみなさんに信頼される職員として、常に高い倫理観、道徳観と市民目線を大切に事業遂行します。

重点事業		事業概要	予算額	担当課	成果目標	達成状況	評価
①	同報系防災行政無線整備事業	災害発生時の市民の安全安心の確保を図るため、気象情報、避難所開設や被害発生等の災害情報の収集伝達と住民への周知を、市域全域で一律で安定的に行える防災情報伝達システムを構築します。	15,660	防災危機管理局	市内統一の情報伝達システムとして、同報系防災行政無線を整備するため、平成31年度実施設計を完了し整備工事に着手します。	4～5月に対象自治会へ工事説明会を開催。 実施設計完了後、整備工事の発注、入札、仮契約を経て9月議会で契約締結。10月に工事着手。 今年度は本庁操作卓及び湖北、虎姫地区の更新を実施。	B
②	災害図上訓練実施事業	地域の状況や特性に応じた「地区別防災マップ」「地区避難計画」を作成することにより、地域防災力の向上を図ります。	6,437	防災危機管理局	地域住民参加型図上訓練を、3地区（南郷里、上草野、びわ南）で行い、地域固有の防災マップと避難計画を作成し対象地域の全戸に配布します。	地域住民参加型図上訓練・3地区（南郷里、上草野、びわ南）で各2回ずつ開催 ・地域固有の防災マップ作成対象地域の全戸に配布	B
③	消防団拠点施設等整備事業	地域防災力の向上を図るため、消防団の活動拠点（屯所）整備および消防ポンプ車の更新を図ります。	73,727	防災危機管理局	第16分団（虎姫）の消防団屯所を移転新築します。 消防ポンプ車2台の更新整備を行います。	消防団屯所の建設工事 8月から着手、12月末に完成 消防ポンプ車2台 （長浜市消防団第3、5号車） 10月に更新	B
④	草の根防災意識向上事業	市民の皆さんが「自助・共助・公助の役割分担」を踏まえ、自主的に防災対策、防災活動に参加いただけるよう防災意識の向上を図ります。	—	防災危機管理局	自治会等での出前防災講座を50回（参加者3000人）開催します。	自治会等での出前防災講座 74回（参加者4,821人） 開催	A

3 業務改善の取組

担当部署(課)	めざす状態	取組の方向性	具体的な取組	成果と効果
① 防災危機管理局	協力体制構築と効率的事務の進め方を各自が考え、実行できる。	災害発生時を想定し、平時での事務協力を図り、時間外勤務の前年対比減を目指します。	毎週水曜日は、災害対応が無い限り定時退庁の徹底を図り、時間外勤務削減の前年対比減を目指している。	毎週水曜日定時退庁の取り組みにより、一般職員一人当たり一ヶ月平均時間外勤務の33%削減（H30：30.85時間/月→R元：20.82時間/月）
② 防災危機管理局	各業務の完了目標設定とその進捗管理の徹底が図れている。	各個人の業務進捗状況を相互で把握するため、週単位・月単位の進捗確認を行う。	毎週金曜日の終礼時において、各個人の週単位での実績確認と次週予定の確認を実施している。	各人の週単位での進捗管理を情報共有した事で、遅れていた事業を組織全体でリカバリー出来た。